

令和6年度 美術《第1学年》年間指導計画

担当（ 鈴木 朝子 ）

美術科 教科の目標  
表現および鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにして、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

美術科 第1学年の目標  
(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。  
(2) 対象を見つけ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を伸ばす。  
(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に関する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

※【知】は「知識及び技能」は、【思】は「思考力、判断力、表現力など」、【態】は「美術への関心、学びに向かう力、人間性等」

月	単元名	学習内容	評価規準	評価資料
4	オリエンテーション 「自己PR」(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心構え、授業内容の説明。</li> <li>図工との共通点・相違点の確認。</li> <li>年間授業の内容・評価方法などの説明</li> <li>自分自身の紹介を、絵や文字など美術的観点からどう自己PRを作るのか考え、自分らしさを、まとめ、表現する。</li> </ul>	【知】 ・自分自身をいかに客観的にそしてわかりやすく説明できているか。 いかに自分なりの文章、絵などを書き込めるか。	【知】 AB
			【思】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組もうとする。	【思】 AB
			【態】 ・美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組もうとする。	【態】 AB
5	絵画 「鉛筆デッサン」 絵を描く基礎を学ぶ (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>形や影の特徴をとらえてスケッチする。</li> <li>自分自身の手を見ながら、手の中にできる影、外にできる影、立体感などを書き表していく。</li> <li>デッサンへの関心を持ち、自分なりの見方や感じ方を大切にしながらデッサンを楽しむ。</li> </ul>	【知】 ・形や彩色などの特徴や印象などから全体を感じ、本質的なよさや美しさ、目的のものの意図や創造的な工夫や機能などを感じ取り、見方を広げている。	【知】 ABCDE
			【思】 ・材料や用具の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。	【思】 ABCDE
			【態】 ・デッサンに関心を持ち、自分なりの見方や感じ方を大切にしながらデッサンを楽しもうとしている。	【態】 ABCE
6 7	デザイン 「色彩学」 色彩について学ぶ (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩論を楽しく学ぶ。</li> <li>色を整理し理解することにより改めて理解する。</li> <li>色彩の基礎を身につける。</li> </ul>	【知】 ・色の性質や分類について基礎的な知識を理解し、橋色など応用力を身につけることができる。	【知】 ABCDE
			【思】 ・色彩から感じるイメージを通じ、発想や構想を工夫し、自分の考えを表現することができる。	【思】 ABCDE
			【態】 ・生活の中に美術があることに関心を持ち、主体的に観察し基礎的な技能を身につけようとするすることができる。 ・完成した作品を鑑賞し、色彩がいかに自分たちの生活の中で感覚や感情に影響を及ぼすのかを再確認し、改めて色の持つ魅力を味わい、課題意識を持つことができる。	【態】 ABCDE
8	デザイン 「ユニバーサルデザイン」 世界が認めるデザインを見つける (自宅学習課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自国・他国にとらわれず、機能性や個性など作品の良さを理解する。</li> <li>自分なりに何のために作られたかを考え、世の中や自分に関係するデザインの在り方を観察理解する。</li> <li>他国や個人の作品に影響を受けて自分なりの作品を表現していく。</li> </ul>	【知】 ・表現したいイメージを持ちながら意図に応じ材料や用具を生かし、創意工夫に表現できる。 ・資料などから得た情報を積極的に鑑賞し、意欲をもって理解を深めようとしていることができる。	【知】 BE
			【思】 ・目的や条件などをもとに、美術的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かし構成や装飾を考え、表現の構想を練れる。	【思】 BE
			【態】 ・その土地や歴史に根付き生まれてきた特徴や相違点と共通性を理解し、国際的理解を深めようとしている。	【態】 BE
9 10	レタリング レタリングの体験 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>明朝体やゴシック体などレタリングの書体の特徴を理解し基礎的な知識を学ぶ。</li> <li>文字の大きさの調整、形のバランスを取り、美しく読みやすい文字がかけられるようにする。</li> </ul>	【知】 ・伝えたい内容を多くの人々にわかりやすさや美しさなどを考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしている。	【知】 ABCE
			【思】 ・伝えたい内容を多くの人に伝えるために、形を効果的に生かしてわかりやすさ、美しさなどを考え、自分らしい表現の構想を練っている。	【思】 ABCE
			【態】 ・表現方法を工夫し制作の重所などを総合的に考えながら見通しを持って表現している。 ・目的や機能との調和のとれた洗練された美しさ、作品の美しさ、全体的なイメージなどを総合的に考え、テーマとしての意味合いが正しいかを見極め、自分の価値意識を持って味わっている。	【態】 ABCE
11	鑑賞 「ロゴの世界」 世界にある文字の可能性を学ぶ (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋や東洋に限らず世界的に有名な看板やロゴを知り、文字と絵との違いや似ているところを感じる。</li> <li>文字とその意味を表す絵の組み合わせの表現を理解し、組み合わせによる効果的な伝達の方法を知る。</li> </ul>	【知】 ・資料などから得た情報を積極的に鑑賞し、意欲をもって理解を深めようとするすることができる。	【知】 BE
			【態】 ・その土地や歴史に根付き生まれてきた特徴や相違点、共通性を理解し、国際的理解を深めることができる。	【態】 BE
12	イラストレーション 漢字アート「絵文字」「熟語」 (10時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字一文字を創作する。</li> <li>画面構成と配色バランスの構築、相手を意識したうえで見せる作品の意識する。</li> <li>目的や用途に応じたレタリング技術や知識を学び、創造するという感覚を理解し、自らの思いを伝える手段として表現を楽しむ。</li> <li>色構想を組み立てて、イラストレーションと組み合わせた表現方法を身につける。</li> </ul>	【知】 ・自他の作品を鑑賞し、作品が持つ思いが伝わる実感を味わう。 ・文字の持つ造形的要素、成り立ちを知り、伝えることの大切さを理解する。 ・レタリングの技法を駆使し、表現方法を創造するアイデアを積極的に取り入れることができる。	【知】 ABCDE
			【思】 ・スケッチ等、ワークシートの段階を充実し、自分の内面を具体的に構想することができる。	【思】 ABCDE
			【態】 ・普段、見ている文字を書体などを理解した上で改めて関心を持ってみるることができる。 ・自分から内容に対して楽しむ取り組み、喜びを感じ積極的に取り組もうとしている。	【態】 ABCDE

1	鑑賞 「貼り絵の世界」 切り絵・貼り絵の違いと日本の 伝統工芸 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統工芸としての紙工芸を知り西洋、東洋の違うところ、似ているところを感じる。</li> <li>・各作家の代表作とともにその時代背景、心情、作風に触れ、より深く表現する喜びを理解する。</li> </ul>	【知】	・形や色彩による印象や、作者の心情・意図と表現の工夫を主体的に感じ取ろうとしている。	【知】 BE
			【態】	・形や色の特徴や個性を味わい、作者の魅力や思いと関連付けて鑑賞することができる。	【態】 BE
2	工作 「チラシの貼り絵～イベント ～」 別のモノから別のモノへの変容 (11時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形態の美を発見し、発想や構想をする。</li> <li>・自分のイメージの表現に役立つテクニックを習得する。</li> <li>・発想豊かに主題に対して明確なイメージを持ち、表現方法を工夫し伝わりやすい作品を形作る。</li> <li>・様々な素材を使用し、偶然の面白さを引き出す。</li> <li>・作品を創作するにあたって、表現意図に応じた技法を選択することができる。</li> <li>・行事をにスポットを当てることで違った発見をし、それに伴った表現方法を選択し、さらに工夫し、作品にすることができる。</li> </ul>	【知】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考えて表現する故に関心を持ち主体的に構想を考えることができる。</li> <li>・表現したいイメージを持ちながら意図に応じて材料や用具の活かし方を考え、創意工夫して表現できる。</li> </ul>	【知】 ABCDE
			【思】	・目的や条件などをもとに、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かし構想や装飾を考え表現の構想を思考できる。	【思】 ABCDE
			【態】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を選びから、伝えたい内容についてわかりやすさや美しさなどを考えて表現することを感心を持ち、主体的に構想を練ろうとする。</li> <li>・作り手の意図や願いを感じ取り価値意識をもって味わっている。</li> </ul>	【態】 ABCDE
3					